

16:1 さて、安息日が終わったので、マグダラのマリアとヤコブの母マリアとサロメは、イエスに油を塗りに行こうと思い、香料を買った。

16:2 そして、週の初めの日の早朝、日が昇ったころ、墓に行った。

16:3 彼女たちは、「だれが墓の入り口から石を転がしてくれるでしょうか」と話し合っていた。

16:4 ところが、目を上げると、その石が転がしてあるのが見えた。石は非常に大きかった。

16:5 墓の中に入ると、真っ白な衣をまとった青年が、右側に座っているのが見えたので、彼女たちは非常に驚いた。

16:6 青年は言った。「驚くことはありません。あなたがたは、十字架につけられたナザレ人イエスを捜しているのでしょうか。あの方はよみがえられました。ここにはおられません。ご覧なさい。ここがあの方の納められていた場所です。」

16:7 さあ行って、弟子たちとペテロに伝えなさい。『イエスは、あなたがたより先にガリラヤへ行かれます。前に言われたとおり、そこでお会いできます』と。」

16:8 彼女たちは墓を出て、そこから逃げ去った。震え上がり、気も動転していたからである。そしてだれにも何も言わなかった。恐ろしかったからである。〔彼女たちは、命じられたすべてのことを、ペテロとその仲間たちに短く伝えた。その後、イエスご自身が彼らを通して、きよく朽ちることのない永遠の救いの宣言を、日の昇るところから日の沈むところまで送られた。アーメン。〕

16:9 〔さて、週の初めの日の朝早く、よみがえったイエスは、最初にマグダラのマリアにご自分を現された。彼女は、かつて七つの悪霊をイエスに追い出してもらった人である。〕

16:10 マリアは、イエスと一緒にいた人たちが嘆き悲しんで泣いているところに行って、そのことを知らせた。

16:11 彼らは、イエスが生きていて彼女にご自分を現された、と聞いても信じなかった。

マリアとサロメとはイエス様が復活することを明確に予期していたわけではありませんでした。それでもイエス様の遺体に香油を塗ろうと墓に行ったので、このように復活の第一発見者となることができたのです。その動機はイエス様への愛です。

イエス様は生前に、その足に香油を塗った行為を喜ばれ賞賛されましたが、周囲の者は無駄なことをしたと憤慨しました。その動機はイエス様への愛を表したいという思いです。

愛を表すことは非常に重要です。効率や生産性を考えるとどうかと思えることでも、それらがすべてではありません。愛を表しましょう。そこに主のみわざが表されます。

イエス様はよみがえられました。それは死への勝利を意味します。サタンの敗北です。これが私たちの希望です。サタンが敗北したということは、現代において私たちが苦難の中にあっても、かならず主の恵の計画が成就するということです。

大いなる希望を持ちつつ、それゆえに愛を表してゆきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

